

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	教育学研究科
大項目	5 学生の受け入れ (研究科)
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育学研究科のアドミッションポリシーを受験生に明示し、研究科の目標と内容の理解を徹底する。	→「募集要項等におけるアドミッションポリシーの明示の有無と研究科委員会構成メンバーへの周知」「受験生との事前相談の実施」「PR活動の検討と実施」	B	B	B		
2. 研究科のアドミッションポリシーの研究科教員への周知を徹底する。	→「研究科委員会でのアドミッションポリシーの確認」	C	C	B		
3. 教育学研究科の理念に基づき、収容定員を過不足無く確保するよう努力を行う。2010年度から実施の特別推薦入学試験を適切に実施する。	→「研究科委員会での検討と関係する委員会の設置」「大学院入試委員会の開催頻度」「特別推薦入学制度による入学者数」	C	C	C		
4. 教育学研究科の理念と研究者養成のアドミッションポリシーに基づき、完成年度以降の入学者選抜について検討を開始する。	→「研究科委員会での検討と関係する委員会の設置」	C	C	A		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	「募集要項等におけるアドミッションポリシーの明示の有無と研究科委員会構成メンバーへの周知」「受験生との事前相談の実施」「PR活動の検討と実施」について概ね実行しているが、受験の応募者が少ないという結果からは、未だ、本学大学院教育学研究科に対する認知度が低いことが考えられる。
目標2	教育学部再編に向けて、教授会や研究会委員会で教育学部および教育学研究科のアドミッションポリシーに触れる機会が多かったため、前年度よりは周知した。
☆ 目標3	特別推薦枠による2011年度入学生は1名（聖和大学）であった。2012年度についても特別推薦枠である広島女学院大学文学部、関西学院大学文学部、および聖和大学教育学部に対して、学生の募集を行ったが、応募者はいなかった。
目標4	大学院問題検討委員会、学部長室会、将来ビジョン委員会において、次の2点について検討し、決定した。①2013年度入試に向けた推薦入試制度を設けた、②2013年度より教育学専攻幼児教育学領域および臨床教育学領域を廃止し教育学専攻幼児教育コース、初等・中等教育コース・臨床教育コースを設けた。
備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【教育学研究科】		前期/後期課程	単位	2008	2009	2010	2011	2012	備考
指標1	入学定員	前期課程	名		6	6	6	6	・5/1現在
		後期課程			3	3	3	3	
指標2	志願者総数	前期課程	人		4	4	6	5	・5/1現在
		後期課程			2	2	1	2	
指標3	合格者数	前期課程	名		3	3	5	3	・5/1現在
		後期課程			1	2	1	1	
指標4	入学者数	前期課程	名		3	3	5	3	・5/1現在
		後期課程			1	2	1	1	
指標5	志願者倍率	前期課程	倍		0.7	0.7	1.0	0.8	・5/1現在 ・志願者÷入学定員
		後期課程			0.7	0.7	0.3	0.7	
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	前期課程	倍		—	—	—	—	・5/1現在 ・入学者数÷入学定員
		後期課程			—	—	—	—	
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	前期課程	%		33.3%	0.0%	40.0%	66.7%	・5/1現在 ・一般入試入学者数÷入学者数
		後期課程			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
指標8	収容定員	前期課程	名		6	12	12	12	・5/1現在
		後期課程			3	6	9	9	
指標9	在籍学生数	前期課程	名		4	6	8	8	・5/1現在
		後期課程			2	3	4	4	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	前期課程	%		66.7%	50.0%	66.7%	66.7%	・5/1現在
		後期課程			66.7%	50.0%	44.4%	44.4%	